

泉佐野市長

千代松 大耕

ち よ まつ ひろ やす



4月

市長選挙

4月24日の泉佐野市長選挙におきまして、1万7,886票もの市民のみなさまからのご信任をいただき、第19代目で、昭和23年4月1日の市政施行後6人目の泉佐野市長に就任をさせていただきました。新田谷前市長が大阪府議会議員選挙への出馬に伴い辞職をしていたために、市長不在のもとでの選挙でしたので、選挙後すぐに市長に就任をし、翌25日に当選証書授与式後、市長としての公務がスタートいたしました。今回の泉佐野市長選挙での当日有権者数は、7万9,997人、投票者数は、3万2,075人、投票率は40.10%でした。

選挙戦の争点

今回の市長選挙では、「早期健全化団体」となった泉佐野市をどのように建て直していくかが、大きな争点であったと考えます。私は、「これからの泉佐野市は、さらなる市民負担をかけることなく、財政を建て直していきながら、また泉佐野市にとって耐震化や子育て支援などの必要な施策は行政が、お金がないからといって責任を放棄して送りしない。しっかりと行政としての責任を果たしていく。そのためには市役所内の改革が必要。置き去りにされてきた公務員改革をおこなっていく。」と訴え、選挙を戦いました。そして多くの市民の方々からの得票結果となって表れたと考えております。このことをしっかりと肝に命じながら、これからの市政運営のあたっていく所存でございます。



千代松 大耕プロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校 卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校 卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校 卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部 卒業
- 1998.7 米国Lincoln University 大学院 修了
- 2003.3 大阪府立大学大学院 修了
- 2005.3 和歌山大学大学院 修了
- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員初当選 (以降4期連続当選)
- 2004.5 泉佐野市議会 第61代副議長
- 2006.5 泉佐野市監査委員 (議会選出)
- 2008.5 泉佐野市議会 第65代議長
- 2011.4 泉佐野市長 初当選



泉佐野市長選挙結果

千代松 大耕 37歳 無新 (自民推薦、公明支持)	17,886票
戸野 茂 57歳 無新	8,554票
高道 一郎 52歳 無新 (共産推薦)	5,047票

歴代泉佐野市長

初代	日根 庄造	昭和23年 4月 1日 ~ 昭和23年 7月29日
2代 ~ 6代	山本 昇平	昭和23年 9月 1日 ~ 昭和40年11月 4日
7代 ~ 9代	熊取谷 米太郎	昭和40年12月 5日 ~ 昭和51年 1月25日
10代 ~ 15代	向江 昇	昭和51年 2月22日 ~ 平成12年 2月21日
16代 ~ 18代	新田谷 修司	平成12年 2月22日 ~ 平成23年 4月 1日

5月

まちの活性化

就任直後にまず手がけましたのが、企業誘致などによって収入増を図る専門チーム「まちの活性化プロジェクトチーム」の立ち上げでした。5月1日付けで、部長級1名、課長級1名、課長代理級1名の3名で構成するチームを発足いたしました。このチームの主な業務は、企業誘致、有休地の売却、

国や府の支援、そして新たな市民イベントの実施です。学校施設の耐震化などの財源をしっかりと確保するように、歳入増に向け取り組みを進めています。

組合交渉

人件費削減の柱である職員給料のカットについては、組合に申し入れをし、5月の中旬から組合交渉をスタートいたしました。市議会議員時代から市民の方々からいただいている大事な税金の多くが費やされる人件費については、その決定さ

れるプロセスに透明性を持たせるべきだと、組合交渉を公開にするように求めていました。そのような考えに基づき、市長にならしていただいてから初めて臨んだ今回の組合交渉を公開にさせていただきました。泉佐野市には泉佐野市職員労働組合、自治労泉佐野市職員組合の2つの組合があります。また今回の給料削減は幼稚園教諭も含むので、泉佐野市教職員組合とあわせて3つの組合と交渉をおこないました。職員給料の20%カットを申し入れた交渉でしたが、残念ながら労使合意にはいたらずに組合交渉は決裂に終わりました。

震災復興支援



東日本大震災の復興支援のために派遣をした市職員から現地の状況等の報告を受ける。

5月臨時市議会

5月24日(火)の臨時市議会におきましては、**市長で40%、副市長で35%、教育長で30%の給料カット**をする条例と、それぞれの**退職金制度を廃止**する条例案が可決しました。これにより、4年間で三役の給与で約**5,000万円**、退職金で約**3,400万円**の削減効果となります。また5月臨時市議会は通常、議会の役員を決める臨時市議会です。議長に松浪武久議員(維新21/3期目)が、副議長に辻仲隆議員(公明党/2期目)がそれぞれ選出されました。**議長選挙**におきましては、議場において**立候補表明をした議員が所信を述べて、それに対して議員が質問をする**という新たな取り組みがおこなわれました。

近畿市長会総会

5月19日(木)、20日(金)の2日間に渡り、近畿市長会の総会が、ゲートタワーホテルで開催され、近畿2府4県の111市のうち、94市の市長が出席をいたしました。**泉佐野市での開催は14年ぶり2回目でした。**私は、開催市の市長として**総会の議長を務め**させていただきました。東日本大震災の発生を受け、国に対しての支援を求める決議等を採択いたしました。



第115回 近畿市長会総会

6月

施政に関する基本方針

市長として初めての定例市議会にのぞむにあたって、6月議会冒頭で「**施政に関する基本方針**」を公表しました。通常は3月議会の冒頭で公表するのですが、3月議会時点では前市長が辞めて府

議会議員に出馬するという方向でしたので、6月議会冒頭で、新しく市長に就任をさせていただきました私が「**施政に関する基本方針**」を公表し、それに対しての各会派からの代表質問を6月13日(月)、14日(火)の2日間に渡って受けました。議員時代は、議長、副議長を務めていた議会以外には必ず質問をしていましたが、議員からの質問を受けて、それに対して答弁をしていくという経験を初めてしました。

補正予算

3月議会で承認をされました平成23年度の当初予算は、新田谷前市長のもとでの骨格的な予算でありました。私が市長に就任をさせていただき、普通ならこの補正予算で、政策的なものを加えながら予算を組んでいくのですが、**赤字額を増大させることなく、また基金を取り崩すことなく、新たな事業を進めるには一定の財源の目途が立たない**かぎりには、予算として計上しないという方針のもとで、6月議会の補正予算は、義務的なものや、全額補助金で賄えるものに限った補正予算としました。「**財源確保の観点から、新たな事業を実施する場合は、赤字額を増大させることなく、基金を取り崩すことなく、新市長には、予算執行の保留と予算の編成替えについての裁量を委ね、出来る限り財政状況を悪化させない**手段を取ることを求める。」という主旨の**議会の付帯決議が3月議会で可決**されました。その付帯決議には、当時議員でありました私も賛成いたしました。骨格的な予算にもかかわらず、**当初予算で累積赤字が25億円**という予算を組んだことからこのような付帯決議があったわけであります。平成22年度の決算の速報値により、想定していたよりも改善が見られましたが、厳しい財政状況にあることには変わりありません。

職員給料カット

6月議会では、**職員給料の20%カット**の議案を上程しましたが、**今年度末までの8%カットから13%カットの暫定措置**というかたちで議事を終えました。昨年の7月よりおこなっている部長級5%カット、課長級4%カット、課長代理級3%カットにあわせて全職員に対しまして一律8%カットを乗せた削減となりました。これにより市職員の給料としましては、大阪府下最低の水準となります。職員給料に根本から反対の議員もいますが、大方の議員は職員給料のカットには理解を示しています。しかし「**20%カットの根拠が示されていない。**」「**新たな収支見通しを示してほしい。**」「**健全化計画の修正案を示してほしい。**」「**若い職員には20%カットは厳しい。**」などの意見により20%カットには賛同しにくいということで、付託された総務産業委員会では**採決がおこなえない状況**にもなっていました。さらなる市民負担を求めずに、財政を立て直していきながら、泉佐野市に

とって必要な事業はおこなっていく、そのためには市役所内の改革が必要、置き去りにされてきた公務員改革をおこなっていくという方針のもとで、**職員給料の20%カット**を断行するという約束が6月議会時点で実現できなかったことに対しましては、この方向性に対してご支持をいただきました**市民のみなさまにお詫びを申し上げます。**現在、泉佐野市では9月議会の補正予算に向けた調整がおこなわれています。新たに収支見通しを立てた上で、8月に議会に示す財政健全化計画は「**実施計画**」という位置づけのものです。そのような中で、**全庁的に新たな積み上げ**をしている段階ですので、方向性が固まり次第、公表をさせていただきたいと考えていますのでご理解のほどをよろしくお願い申し上げます。

7月

連絡橋利用税

前市長のときから、重くのしかかる懸案事項として未だ解決していないのが、**関西国際空港の連絡橋の国有化に伴う補填策**として、国土交通省が約束をした**2期島の護岸嵩上げ工事の前倒しが履行されない**ということです。すでにこの補填策による財政効果額は、健全化計画にも盛り込んでいます。私が市長にならしていただいた時に、担当からその話を聞いたときには、呆れ返りました。今年度中の竣工もあやしいということで、6月10日に国交省の役人が泉佐野市に現況を伝えに来たときに「**6月中にきちんとした具体策を示してほしい。**」と強く要望をしましたが、7月1日に国交省の航空局長名で来た回答の中身は、**まったくの進捗が見られない**ものでした。新田谷前市長は、補填をどのようにしていくかという検討会を立ち上げましたが、その検討会は「**連絡橋の利用税の導入を図ることが、一番現実的だ。**」という結論を出しました。

国交省からの回答に具体策、進捗が見られなかったため、7月に入り、法定外税として連絡橋の利用税を導入する検討会を立ち上げるための人選を担当に指示しました。**新田谷前市長が立ち上げた検討会は、補填策をどのようにするための検討会であって、今回立ち上げるのは実際に法定外税を「連絡橋利用税」と決めた上で導入を図るための検討会**です。なるべく早い段階での議会上程をめざして、連絡橋利用税の導入を図るための準備を進めていきます。

活動報告



第18回泉佐野市長旗
第11回泉佐野会長杯少年野球大会にて

連絡先

千代松 大耕事務所

〒598-0045 泉佐野市松原2-5-31 ●TEL.072-458-1708 ●FAX.072-464-9478

●ホームページ: chiyomatsu.jp ●メール: chiyoma51@hotmail.com ●発行部数累計: 849,500部

*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方はご連絡ください。